

水土里ネットちば

Chiba Prefectural Federation of Land Improvement Association



CONTENTS

田んぼの生きものを調査しています	
農林水産部長就任にあたって	1
平成25年度 農業農村整備事業予算	2
千葉県農業農村整備事業組織体制	4
第56回 通常総会開催	6
第54回 全国土地改良功労者表彰式開催	7
県営ほ場整備事業を終えて	8
利根川水系農業用水・水利権マップを作成	10
水利権(武田堰)の取得について	11
第16回「千葉の水回廊ウォーク& 疏水百選印旛沼ウォーク」	12
新規採用職員の紹介	14
全国土地改良大会in北海道の開催のお知らせ	15

2013

No.298

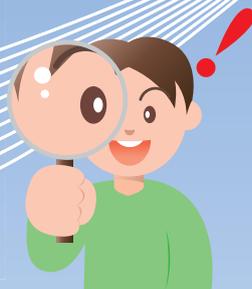
がんばろう! 千葉



第18回写真コンテスト 銅賞「私のお米」

田んぼの生きものを 調査しています

山武郡横芝光町 産業振興課



農地の基盤整備事業を進めている山武郡横芝光町の篠本新井地区では、毎年地元の日吉小学校6年生の皆さんにご協力いただいて「田んぼの生きもの定点調査」を行っています。

この取り組みは、基盤整備工事による環境の変化を農家の皆さんと一緒に調べているもので、整備前の平成19年から開始して今年で7年目になります。

調査は、毎年決まった地点の水路にいる生物を捕獲し、種類別に数や特徴を記録しています。区画整理工事の直後は、魚がほとんど獲れずザリガニばかりの水路もありましたが、徐々に魚の種類も増えはじめ、30cmを超える大物も網にかかることがあります。

この調査を通じ、水路にはたくさんの生きものが住んでいること、その水路をきれいにし

ているのは農家の皆さんだったこと、そして私たちは自然と共存して生きていることを学んでほしいと願っています。



農林水産部長就任にあたって



千葉県農林水産部長 麻生 恵

この度、農林水産部長に就任いたしました麻生でございます。
日頃から、皆様には本県農林水産業の発展のため、様々な場面で御尽力いただき、感謝申し上げます。

最初に東日本大震災による農林水産業施設等被害の復旧については、関係者方々の早期の対応や御尽力により、平成24年度は水稻収穫量が平年単収を上回る結果となりました。

なお、復旧が遅れております香取市石納地区の用水路については、早期の完成を目指して引き続き復旧に努めてまいります。

さて、本県は、農業生産者の高い生産意欲と技術力により全国屈指の農業産出県として発展し、新鮮で美味しい農産物を県内だけでなく全国の消費者に供給しております。

しかしながら、東日本大震災の影響などにより平成23年の農業産出額は全国4位へと後退し、さらに、最近の安価な輸入農産物の増加、施設園芸や家畜用穀物飼料の高騰などに加えて、慢性的な農業後継者不足、高齢化、担い手の減少などにより生産基盤の弱体化や集落機能の低下などが進み、農村が有している多面的な機能の低下が懸念されており、本県の農業を取り巻く環境はいつそう厳しさをましておりますが、一部地域においては基盤整備を契機に農地の利用集積が図られ、新たな担い手となる集落営農組織などの経営体が設立されております。

このような中、県では力強い農業を支えるため、農業者や関係団体が緊密に連携した産地組織力並びに生産力の強化を図るとともに、地域の農業を牽引する意欲ある人材や経営体などの多様な担い手を確保・育成することとしています。そのため、これらの担い手等への農地集積を支える水田の基盤整備を推進することが重要と考えております。

また、農業を支える農業水利施設の多くが耐用年数を超え、農業用水の安定供給や排水機能の確保が懸念されるなかで老朽化した施設の長寿命化対策を併せて推進してまいります。

この水田の基盤整備推進と農業水利施設の老朽化対策を2本柱として、国庫補助事業制度等を積極的に活用し計画的に実施してまいりたいと考えております。

最後に、今後とも本県農業の発展と農業農村整備事業推進への御支援、御協力をお願いするとともに、皆様方の御健康と御発展を御祈念申し上げまして就任の挨拶といたします。

平成25年度 農業農村整備事業予算

千葉県農林水産部

平成25年度千葉県一般会計予算(骨格予算)は、平成25年2月定例県議会において、議決されました。農林水産部耕地課と農村環境整備課が所管する主な事業の予算内訳はつぎのとおりです。

耕地課

(単位:千円)

事業名	平成24年度	平成25年度	
	事業費	事業費	地区数
<直轄事業負担金>			
国営事業(かんがい排水事業等)	3,845,962	3,979,186	
<農業生産基盤整備事業>			
1 かんがい排水事業	2,235,800	1,400,662	22
①かんがい排水事業(一般、基幹ストックマネジメント)	2,144,800	1,371,362	18
内訳 1. かんがい排水事業(一般)	1,440,500	871,412	6
2-1. 基幹水利施設ストックマネジメント事業(法律補助)	679,300	477,950	10
2-2. 基幹水利施設ストックマネジメント事業(予算補助)	0	0	0
2-3. 基幹水利施設ストックマネジメント事業(ソフト)	25,000	22,000	2
②地域農業水利施設ストックマネジメント事業	82,000	14,300	3
③県単用排水改良事業	9,000	15,000	1
2 畑地帯総合整備事業(担い手支援型)	170,000	93,700	2
3 経営体育成基盤整備事業	2,719,853	1,728,640	17
内訳 1. 経営体育成基盤整備事業(経営体育成等のハード事業)	2,578,420	1,716,900	17
2. 千葉県農山漁村地域活性化事業交付金(ソフト事業、県単)	133,933	2,400	(3)
3. 高度化支援事業(ソフト事業)	7,500	9,340	(10)
小 計	5,125,653	3,223,002	41
<農村整備事業>			
4 農道整備事業	450,000	625,300	3
小 計	450,000	625,300	3
<農地等保全事業>			
5 ため池等整備事業	206,000	4,078	3
内訳 1. 県営ため池等整備事業	156,000	4,078	3
2. ため池等緊急整備事業(県単独)	50,000	0	0
6 湛水防除事業	1,451,700	465,900	8
7 地すべり対策事業(防止工事、県単独、災害関連緊急)	421,000	143,979	23
8 特定農業用管水路等特別対策事業	500,000	21,000	2
9 災害復旧事業	2,587,500	1,614,000	64
10 復興交付金事業	0	182,200	1
小 計	5,166,200	2,431,157	101
農業農村整備事業費 計	10,741,853	6,279,459	145
<調査・管理等>			
11 土地改良基礎調査	41,500	20,500	11
12 営農改善対策調査	2,275	1,693	7
13 経営体育成促進換地等調整事業	2,600	0	0
14 土地改良施設管理事業	1,039,612	1,053,058	12
15 基幹水利施設管理事業	512,008	463,192	3
16 土地改良施設維持管理適正化事業	640,000	680,000	70
17 国営造成施設管理費補助事業	30,108	16,798	1
18 国営造成施設管理体制整備促進事業	68,858	68,858	3
19 土地改良管理事業(農業用水水質汚濁調査)	6,320	6,290	4
20 土地改良換地関係費	827,000	1,166,464	7
21 水土総合強化推進事業	10,800	10,800	—
調査費・管理費等 計	3,181,081	3,487,653	89
合 計	17,768,896	13,746,298	234

※県当初予算、事業費ベース
※9 災害復旧事業の地区数はH25.4時点

農村環境整備課

(単位:千円)

事業名	平成24年度	平成25年度	
	事業費	事業費	地区数
<農業生産基盤整備事業>			
1 基盤整備促進事業	95,600	31,186	2
小計	95,600	31,186	2
<農村整備事業>			
2 農業集落排水事業	300,000	385,000	3
内訳 1. ハード事業	300,000	370,000	1
2. ソフト事業	0	15,000	2
3 農村総合整備事業	0	0	0
4 中山間地域総合整備事業	230,000	200,000	1
5 農地環境整備事業	85,000	133,000	3
小計	615,000	718,000	7
農業農村整備事業費 計	710,600	749,186	9
<調査・管理等>			
6 農地・水保全管理支払交付金	994,000	1,046,092	
内訳 1. 共同活動支援交付金	744,000	689,000	未定
2. 向上活動支援交付金	250,000	351,200	未定
3. 復旧活動支援交付金	0	5,892	未定
調査費・管理費等 計	994,000	1,046,092	未定
合計	1,704,600	1,795,278	9

※事業費は割り当て事業費ベース(事務費除く)

※地区数欄()内は、ソフト事業地区数を示し外数

※農地・水保全管理支払交付金の事業費は、県当初予算額ベースで計算

東日本大震災関連の一覧表(耕地課、農村環境整備課)

[一般の災害復旧事業費等については除く]

(単位:千円)

事業名	平成24年度	平成25年度	所管課
	当初予算	当初予算	
(1) 県営農業用施設等災害復旧事業	154,500	0	耕地課
(2) 団体営農業用施設等災害復旧事業	1,323,000	660,000	耕地課
(3) 団体営農業用施設等災害復旧に係る地元負担の軽減	863,500	640,500	耕地課
ア 農業用施設等災害復旧事業地元負担金補助	73,500	6,500	耕地課
イ 農業用施設等災害復旧受託事業	790,000	634,000	耕地課
(4) 災害関連農村生活環境施設復旧事業	106,092	118,440	農村環境整備課
(5) 仮設ポンプ等設置支援事業	14,000	0	耕地課
合計	2,461,092	1,418,940	

千葉県農業農村整備事業組織体制

(平成25年度)

農林水産部

部長	(事)	麻生 恵
流通販売担当部長	(事)	加藤岡 正
水産局長	(技)	山崎 英夫
次長	(事)	渡辺 清一
次長	(技)	湯橋 勤
次長	(技)	鈴木 大作

耕地課

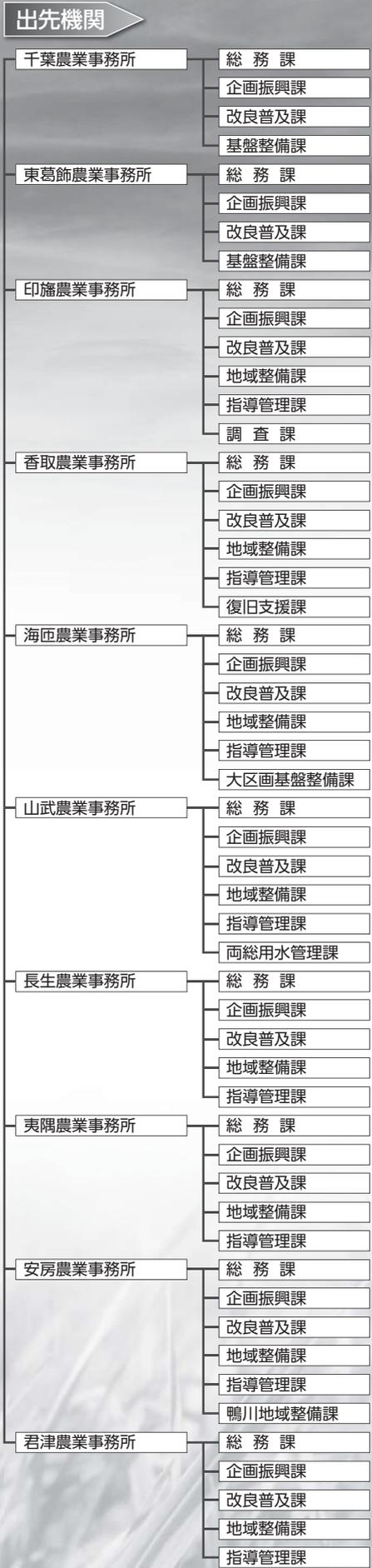
課長		山本 泰三
副課長(事)		中島 始
副課長(技)		杉森 浩
事業計画室	室長	杉野 宏
基盤整備室	副技監(兼)室長	小倉 千生

農村環境整備課

課長		小橋 純
副課長(事)		白井 達朗
副課長(技)		井月 明
耕作放棄地対策推進室	室長	石田 和也
土地改良団体室	室長	曾我 和平

出先機関

千葉農業事務所	所長	渡辺 善保	次長	高野 司
東葛飾農業事務所	所長	井垣 実	基盤整備課長	神崎 英一
印旛農業事務所	所長	松田 晴夫	次長	岩渕 善彦
香取農業事務所	所長	井上 俊也	次長	米島 隆裕
海匝農業事務所	所長	木林 浩司	次長	桑原 孝二
山武農業事務所	所長	近藤 裕之	次長	池尻 勉
長生農業事務所	所長	中村 幸雄	次長	片岡 正文
夷隅農業事務所	所長	富樫 俊彦	次長	及川 忠信
安房農業事務所	所長	井口 明浩	次長	和田 真治
君津農業事務所	所長	飯田 秀雄	次長	高橋 遼雄



農業土木職員 198名
(内、再任用職員39名)

第56回 通常総会開催

～平成25年度予算22億1千万円の決議等12議案を議決～



▲林会長のあいさつ

水土里ネット千葉 総務部

水土里ネット千葉(千葉県土地改良事業団体連合会)第56回通常総会が平成25年2月27日千葉県土地改良会館において、多数の会員並びに来賓を迎え盛大に開催されました。

はじめに林和雄会長が主催者を代表して挨拶し、その後、多年にわたり本県の土地改良事業の推進に貢献された功労者10名が県土連会長表彰を受け、その功績が讃えられました。

来賓には佐藤和彦関東農政局長、川名寛章千葉県議会議長並びに千葉県から永妻能成農林水産部長ほか農林水産部幹部職員を迎え、それぞれ祝辞を頂戴し前半のセレモニーを終了しました。

後半では、市原市市原西部土地改良区の伊鰐幹雄理事長が議長に選任され議事に入り、予め提出された議案は第1号議案から第12号議案まですべて原案どおり承認可決されました。

土地改良功労受賞者の皆さん

(前)千葉市板倉大椎土地改良区	理事長	小高 守正
千葉県手賀沼土地改良区	総括監事	高橋 義雄
根木名川上流土地改良区	第一理事	石井 勝美
香取郡東庄町菟敷土地改良区	理事長	石毛 勇
千葉県干潟土地改良区	事務局長	石毛 建則
両総土地改良区	事務局長	大塚 進
(前)赤目川土地改良区	理事長	富田 晃輝
いすみ市古沢地改良区	副理事長	熱田 彌
(前)東条土地改良区	理事長	飯田 哲夫
(前)小糸川沿岸土地改良区	副理事長	鈴木 榮一 (敬称略)



▲林会長と功労者の皆さん
※当日は石毛勇様が所用のため欠席でした

◇役員補選

今回は理事1名、監事1名の補欠選任が行われ、総会で選ばれた10名の選考委員から推薦された次の方々が選任され、平成27年3月31日の任期まで就任することとなりました。

選任された役員(平成25年2月27日就任)

理事 飯島 正義(千葉県大利根土地改良区理事長)
監事 川島 三夫(浮戸川沿岸土地改良区理事長)

第54回 全国土地改良功労者表彰式開催

水土里ネット千葉 総務部



▲野中全土連会長のあいさつ

去る3月26日東京都千代田区の砂防会館別館「シェーンバツハ砂防」において第54回全国土地改良功労者表彰式が開催されました。

この表彰は土地改良事業の推進や土地改良区の運営に著しい功績のある団体や個人に対し贈られるものです。

このたびは、農林水産大臣表彰優良土地改良区が全国で5地区、金章表彰36地区、銀章表彰53地区、銅章表彰32地区、個人表彰107名が受賞されました。

表彰式では多数の関係者を迎え、はじめに野中広務全国

水土里ネット会長が挨拶、続いて林芳正農林水産大臣が来賓を代表して挨拶し、その後表彰に移りました。

本県からは、佐原市石納野間谷原土地改良区が団体表彰（銅章）を受賞。東日本大震災で大きな被害を受けながらも高木甚一理事長を中心に関係者一丸となり、迅速な復旧・復興に取り組んだことなどが高く評価されたものです。また個人表彰では、5名の方々が永年の功績を認められ表彰の栄に浴されました。



▲祝辞を述べる林芳正農林水産大臣

県内の土地改良功労受賞者

全国水土里ネット表彰式



▲野中全土連会長と本県受賞者の皆さん



銅章

佐原市石納野間谷原土地改良区



山武郡東部土地改良区

理事長 古谷 正之

(前)小糸川沿岸土地改良区

理事長 松本 善正

成田用水土地改良区

参事 宮内 清

北総東部土地改良区

事務局長 宮澤 善一

東総用水土地改良区

事務局長 安西 秀生

(敬称略・役職は表彰時)

県営ほ場整備事業を終えて



天羽土地改良区
常務理事 齊藤 幸雄

当天羽土地改良区は、富津市南部に位置し、南に鋸南町、東に鴨川市、西側を東京湾に囲まれた温暖な中山間地域であります。

設立は昭和45年と比較的歴史の浅い土地改良区で、受益地は832ヘクタール、組合員は1,249名となっています。

従来から水稲単作地帯であり、昭和40年代京葉工業地帯の進出に伴い、兼業農家が多くなってきました。

農地は昔ながらの不整形で小区画なうえ、水路は用排兼用で、また農道らしきものも皆無に等しい状況でした。

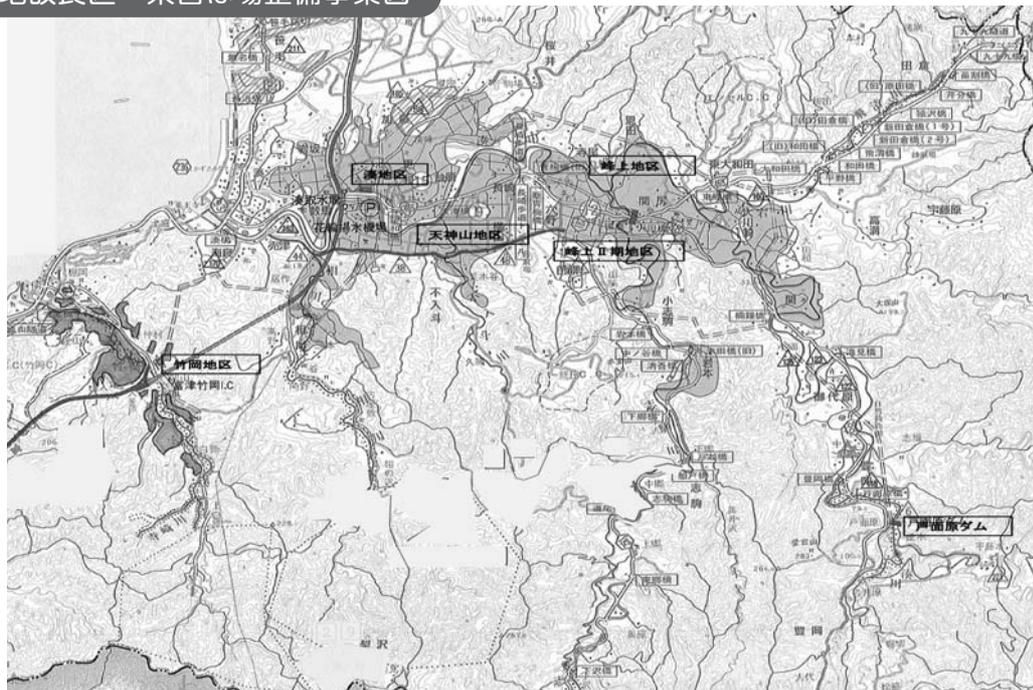
農業用水は東京湾に注ぐ二級河川湊川と、各地に点在する溜池に頼っており、過去に幾度となく干ばつに見舞われ、その都度湊川流域に存在する64の水利組合長会議が招集され、用水の調整が行われていました。

その後、昭和39年、41年にも大干ばつに見舞われ、時の天羽町長は「将来の農業経営を想うとき、農業用水の確保が農家の命」と農業用ダム建設構想を立ち上げ、県の指導を仰ぎながら計画、昭和44年「県営かんがい排水事業湊地区」として国に申請し採択されました。

昭和47年から、ダム本体工事に着手し、53年10月には満水式が行われました。また、昭和51年からは「幹線用水路工事」にも着手し、当時「華のかんぱい」と言われた時代でもあり、好景気に乗り国の予算も要求通り予算付けされ、その工事の進捗度は目を見張るほどの進み方でした。

富津市でも昭和50年前半から「ほ場整備事業」の話が持ち上がり、当天羽地区でも「かんがい排

天羽土地改良区 県営ほ場整備事業図



水事業]の幹線水路工事が南下するに従い、その声は次第に大きくなり、市農林土木課と天羽土地改良区職員は、毎週水曜日を除く月曜日から土曜日まで毎晩のように関係31集落に出向き、富津市の基盤整備事業の現状及び計画、事業内容、受益者負担等について説明、そして話し合いが行われました。勿論、大事業だけに1回の説明で決まる訳もなく、組合員が納得するまで幾度となく行われました。



▲竹岡地区竣工碑と著者

時に日本中が開発ブームでもあり、どちらかと言えば“一坪でも先祖伝来の土地は減らしたくない”との気持ちが大半の時代でもありましたが、苦勞の甲斐あって、昭和59年から天神山地区127ヘクタールの着工にこぎつけることができました。

工事が進むにつれ、以前と全く違った姿の農地を見た他地区の組合員も次々と名乗りを上げ、昭和62年には峰上地区179ヘクタール(後に一期、二期地区に分割され採択)、平成元年に湊地区128.4ヘクタール、平成5年に竹岡地区68.5ヘクタールの、5地区13工区の事業が進められました。

事業中、各工区に共通した問題点は、換地配分、工事費負担、工事への不満等、数え上げれば限りがない程生じ、幾多の問題解決にあたりながら事業を進めていきました。

平成元年、当地域は未曾有の大災害に襲われ、そのため二級河川湊川改修工事に加え、高速道路富津館山線工事、二級河川白狐川及び砂防河川白狐川拡幅工事、市道幹線道路工事等公共工事も次々と計画され、その用地代金収入と富津市のご理解もあり地元負担金の軽減が図られました。

こうした経緯を経て、着工以来26年にわたった事業も竹岡地区を最後に、平成22年度をもって503ヘクタールの近代的なほ場が完成しました。

当地域でこのような大事業が実施されたことは戦後の農地改革以来であり、国・県・市はもとより、直接工事に携わった君津農業事務所には深く感謝申し上げますと共に、各関係機関並びに、関係者にお礼申し上げます。

このような過去にない大事業を成し遂げた自分たちの誇りとして、また、この事業の大切さ、偉大さを後世に伝えようと、役員をはじめ組合員から竣工記念碑建立の話が持ち上がり、平成9年峰上第2工区を最初として、工区毎に、そして平成25年3月竹岡地区の竣工記念除幕式が地元工区により挙行され、これで全ての事業が終了することとなりました。



当地区の農業基盤整備に要した事業費はつぎのとおりです	
かんがい排水事業	63億4,800万円
ほ場整備事業	108億7,000万円

利根川水系農業用水・ 水利権マップを作成

利根川水系農業水利協議会千葉県支部会長
北総東部土地改良区理事長 齋藤 豊



日頃会員の皆様には、利根川水系農業水利協議会千葉県支部の運営に種々ご協力賜り厚く御礼申し上げます。

本協議会は、利根川水系における農業水利に関する諸問題を検討・協議すると共に、地域農業者の利益と福祉の増進を図り、農業の発展に寄与することを目的とし、昭和55年3月に設立され今年で33年が経過しました。

千葉県の多くの農業用水は利根川に依存していることから、水源情報をいかに迅速に把握するかが、安定した農業用水の供給や生産に必要であり、本協議会の担う役割は重要であると考えております。

本年度から本協議会の参与として、農林水産省関東農政局の県内各国営農業水利事業所並びに独立行政法人水資源機構千葉用水総合管理所を迎え、水質を含む水利用の問題、水利権の問題等について、今まで以上に広範な情報の交換を重ね、水の有効利用に関する啓発等に取り組んで行けるものと考えています。

この一環として、利根川水系に関わる水利権マップの作成を提案し、この程完成しました。これは、本協議会全体として水問題に取り組むにあたって、利根川本川及び利根川水系に係る河川における農業用水の実態を把握することが重要であると考え、マップ上に取水施設及び取水地点、水利権所有者、取水量等のデータを網羅したものです。会員をはじめ、多くの関係者にご活用いただければ幸いです。

最後に、このマップの作成にあたり、各関係機関のご協力に感謝いたしますとともに、本協議会の事業推進に一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



水利権（武田堰）の取得について

水土里ネット千葉 技術部

武田堰は、木更津市東部の二級河川小櫃川水系武田川に位置し、主要地方道千葉鴨川線の東側から小櫃川水系武田川の間を展開する水田A=130.0ha（関連施設含む）を受益としています。かんがい区域は、昭和30年度から昭和32年度に耕地整理事業、昭和33年度に非補助耕地整理事業により10a区画に整備されています。この武田堰は、明治41年以前は「そだ」を組んで造った柴堰であり、洪水毎に堰を剥がさなくてはならず、これらの作業や管理に労力を要したため、明治41年に石造り板羽目方式の堰に改修しました。築造から約100年が経ち、施設の構造から、組立、解体には危険が伴い、維持管理者の高齢化もあり施設の改修を余儀なくされている状況でした。



▲位置図

施設を改修するうえで、問題点がありました。それは、武田堰には水利権がないことでした。武田堰は現行河川法（昭和39年制定）の制定以前から取水を行っており、その取水は約500年前の天正年間（1,573～1,592年）に開発されたと伝えられていますが、二級河川指定時（昭和40年3月）に水利権が取得されていなく現在に至っていました。施設を改修するには、河川法上、まず水利権を取得し、その後、施設を改修していかなくてはなりません。

水利権の取得にあたり、河川の流量と取水量との関係を明らかにする必要があり、武田川に流量があるかどうか焦点になりましたが、結果として河川流量については、昭和42年の亀山ダムと小櫃堰の自然流量の比流量から算出することとしました。また、維持流量は、小櫃川の各地点において定められているため、武田堰上流域15.5km²の維持流量分を武田川が小櫃川に合流する地点で確保

できるかどうか、協議を重ねた結果、平成23年3月に水利権の許可を得ることができました。

水利権を取得するにあたり、ご指導と助言をいただきました県土整備部河川環境課、農林水産部耕地課、その他関係機関の皆様、この場をお借りして感謝申し上げます。

本堰は、平成25年度に基盤整備促進事業「武田堰地区」として改修予定になっています。



▲武田堰

第16回「千葉の水回廊ウォーク & 疏水百選印旛沼ウォーク」

水土里ネット千葉 管理指導部



恒例となりました「千葉の水回廊ウォーク&疏水百選印旛沼ウォーク」が4月6日(土)に開催されました。チラシ等を見て参加していただいた一般の方々をはじめ、ちば歩こう会の会員、NPO美しい田園21の会員(歩きながらゴミ拾いをしてくださいました)、県の関係者、そして水土里ネットの関係者と、合わせて300名近くの参加者となりました。前日までの天気予報では、かなりの荒天になりそうな予報でしたが、何とか雨も降ら

ず、風もさほど強くなることもなく、無事に開催することができました。

今回はコース毎に違う集合場所からスタートし、ゴールはどのコースも八千代市にあります大和田排水機場となりました。

11キロコースの集合場所である検見川公園ではウォークの主催者等からの挨拶やウォークについての説明を聞いた後、みんなでストレッチをして身体をほぐしてからスタートし、ゴールを目指して歩きました。

今回のウォークにスタッフとして参加した水土里ネット千葉の職員の感想を掲載させていただきます。



「印旛沼ウォーク」に参加して

換地部 安田 喜明



初めて、印旛沼ウォークに参加して、春を感じ取れる風情のあるものでした。私は初参加ということで、1番短いコースである距離11キロのコースにエントリーしました。

普段11キロもの長距離を歩くこともなく、無事に怪我なく完歩できるか不安だったため、前日から入念な柔軟体操をしておきました。

しかし、当日の天気予報を見てみると、春の嵐が吹き荒れ歩行は困難を極め、電車等公共機関は運休や遅延が見込まれるとの情報を得て、自身の雨男ぶりにがっかりしました。

当日朝は、怪しい雲はあったのだが、雨には至らず風もそれほど強くなく一安心の中、出発。

いざ、歩き始めると不安が払拭されるようなすばらしい体験の連続でした。様々な場所を経由するコースで地域のことを知る絶好の機会となり、また普段なかなか話すことのできない他の部署の方々と話せたことは大きな収穫でした。途中、印旛沼土地改良区の方から花より団子ということわざにかけて団子が振る舞われるという粋なはからいでいただいた団子はとてもおいしかったです。



長いだろうと予想していた距離は、春の風を感じながら風景を楽しんでいるうちに、いつのまにかゴールへと辿り着きました。

もう終わり?と同期と顔を見合わせ、達成感と若干の寂しさを感じていました。

終了後にいただいたビールの味は格別であり、少し遅い花見を堪能することができました。

翌日、筋肉痛に襲われ、1日中部屋から出られず、日頃の怠惰な生活を反省させられることにはなりませんが、既に来春のこのウォーキングを心待ちにしています。

会員支援センター 久野 昌也

私は昨年の12月から千葉に住み始め、まだ千葉に来てから日が浅かったため、自分が働く県の事を知らうと思い印旛沼ウォークに参加しました。

10kmを超えるウォーキングは久しくしておらず、「どんな景色が楽しめるのか」「どんなお話を聞かせていただけるのか」と、とても楽しみにしていました。ところが、日が近付くにつれ天気予報は陰りを増していき、とうとう前日の予報は「大荒れ」の報せ。これは景色を楽しみながら歩く余裕はないと覚悟し、せめて揚水機場の知識や土地勘を身に付け、風邪をひかずに終わられるようにと、最低限の目標に絞り込んで参加いたしました。

当日、9時に検見川公園へ着いて、参加者の方にお花の種を配り終え、ガイドの方の諸注意を聞いていると、「本日は大荒れの予報ですので注意して下さい。」とのアナウンスが。それを聞くまで予報を忘れていたほどの快適な天気でした。風が心地良く暑すぎない、まさに春のウォーキング日和でした。



参加者の方はリュックにジャージ、スポーツシューズと準備万端な方がほとんどで、団体を遠くから見てもスポーティで、通り過ぎる人達の気を引き締めていく、そんな雰囲気が出来ていました。しかし私は、キャンバスシューズに加えてカジュアルシャツにネクタイという、まるで雰囲気を作れない格好で参加してしまいました。



私が前日に心配していたのは、天候でも体力でもなく、春物の服を実家に置いたままで、冬物のグレーな格好しかなかったことでした。「これはまずい」と前日の仕事帰りに千葉駅へ寄り、服を探した結果、何を思ったか、ややフォーマルな感じに仕上がりに、迷うことなくジャージを選べばよかったと後悔いたしました。

ともあれ、ウォーキングに差し支えることはなく、当初の期待通りに景色を楽しみながら、揚水機や堰の話の伺うことができました。特に素晴らしかったのは花見川のサイクリングコースを少し過ぎたあたりで、とても日差しが強くなり、スイカが欲しくなるような夏の陽気を感じられたことです。川沿いの葉桜や、丘の上に立つ鳥居も印象的で、今度は自分で今回のルートを辿って、気になる所へ探検して足を運んでみたいと思いました。

終盤では一度通り雨が降ったこともありましたが、その後はさらに快晴となり、まさにウォーキングを「起承転結」で飾る天候でした。フィナーレでは、運営をして下さった印旛沼の近い世代の方とお話をしながら歩くのがとても楽しく、風が爽やかで素晴らしい快晴の下、新社会人となった私を励まして下さいました。

晴れた川沿いで吹く風は本当に清々しく、入会して初めての土曜日に、社会人としての実感を得ることができました。ゴールした時に頂いたトマトもとても甘く、千葉の農産物を舌で感じられました。参加者の皆様方、運営の方々、本当にありがとうございました。

新規採用職員紹介

換地部 換地課 換地第一係
安田 喜明



平成25年4月1日付けで新規職員として換地部に配属となりました安田喜明です。出身は南房総市の旧丸山町です。

配属され、1ヶ月が経ちますが、優しい先輩の方々にご指導いただいております、楽しくも勉強の毎日です。

私の家も農業をしていることもあり、これからの農業の発展や向上に寄与できることは大変やりがいのあることと同時に、責任ある仕事であると思っております。この初心をいつまでも忘れず、1日も早く一人前となり、皆様の力となれるよう日々精進して自己研鑽に励む所存です。

まだまだ未熟な面も多くございますが、今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

会員支援センター 水土里情報推進係
久野 昌也



平成25年4月1日付けで会員支援センターの技術職員として採用していただきました久野昌也です。連合会には採用が内定し

てから臨時職員として勤めておりましたが、職員の皆様方のご指導のお陰で、4月より晴れて職員となることができました。

出身は東京都世田谷区で、大学では衛星画像を利用して砂漠地域の環境変動を分析していました。趣味ではバンドを続けており、ドラムは中学1年生からずっと続けています。

臨時職員のうちから、先輩方には一人暮らしのアドバイスなどをいただき、たくさんのお気遣いをしていただきました。千葉の事や連合会の事はまだ分からないことも多いですが、仲間に恵まれた職場で仕事を続けられるよう精一杯努力いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

第36回 全国土地改良大会 in 北海道

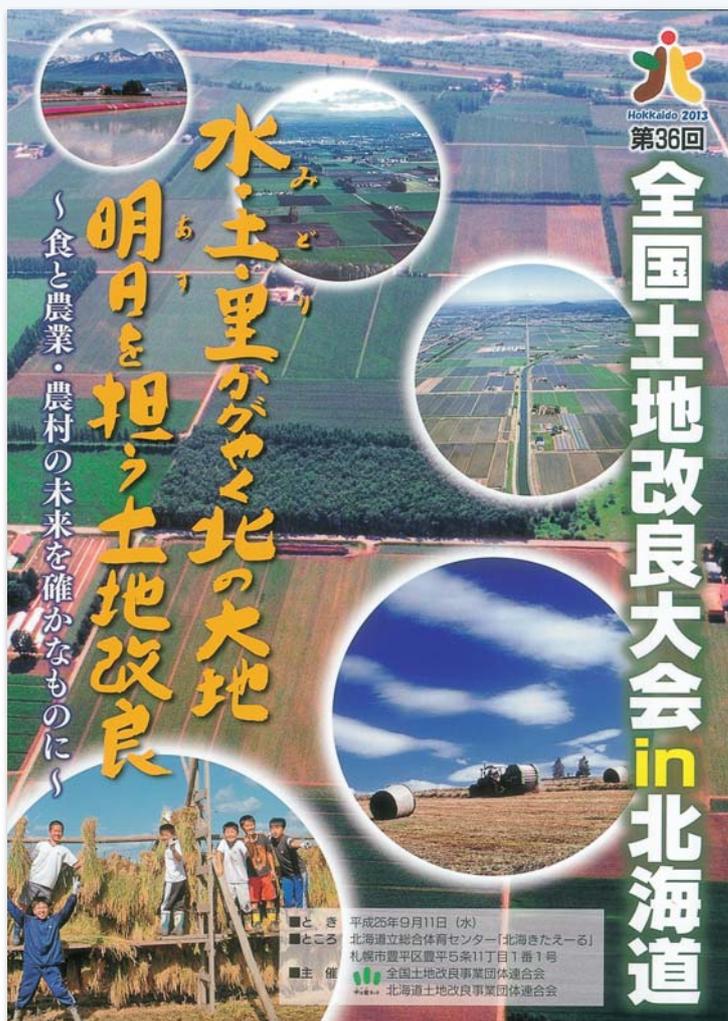
開催のお知らせ

本年の全国土地改良大会は、下記により開催されます。

大会テーマ

水・土・里かがやく北の大地 明日を担う土地改良

～食と農業・農村の未来を確かなものに～



主催

全国土地改良事業団体連合会
北海道土地改良事業団体連合会

会場

北海道立総合体育センター「北海きたえーる」
札幌市豊平区豊平5条11丁目1番1号

開催日

大会式典 平成25年9月11日(水)

美しい農村環境 写真コンテスト

締切せまろー!!

<テーマ>

誰もが住んでみたい美しい農村環境

あなたが見つけた美しい農村や農村環境、農村におけるさまざまな活動を写真におさめてみませんか。

募集中

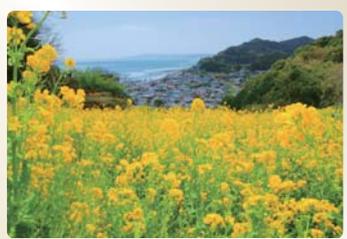
第18回最優秀賞
(千葉県知事賞)



第18回 千葉県土連会長賞



第18回 ちば水土里支援パートナー賞



第18回 千葉県農地・水保全管理協議会賞



第18回 千葉県農村振興技術連盟賞

入選作品でカレンダーの作成を計画しています。
たくさんのご応募お待ちしております。

各賞

- 最優秀賞(千葉県知事賞) … 1点(賞状・副賞)
- 千葉県土連会長賞…………… 1点(賞状・副賞)
- 特別賞 3点(賞状・副賞) ■金賞 1点(賞状・副賞)
- 銀賞 2点(賞状・副賞) ■銅賞 3点(賞状・副賞)
- 佳作数点(賞状・副賞) ■参加賞 応募者全員に粗品進呈

応募締切

平成25年6月30日(当日消印有効)
[応募先]〒261-0002 千葉県美浜区新港249-5
水土里ネット千葉(千葉県土地改良事業団体連合会)
管理指導部 TEL 043-241-1728(直通)

応募要領

- 応募資格 千葉県内在住または在勤の方
- 応募規定
 - 千葉県内で撮影したもの
 - 応募作品について
 - ・カラー写真の単写真に限ります。
 - ・応募は未発表のもので1人3作品までとします。
 - ・写真サイズは四つ切り(ワイド可)とします。
 - ・デジタルカメラで撮影した作品の場合は、撮影したままのもので、加工・調整した作品は応募できません。
 - ・人物が被写体の場合は、応募者の責任により肖像権に触れないようにして下さい。
 - ・応募の際は応募票に記入し、応募作品の裏に貼り付けて下さい。(コピー可)
 - 入賞作品について
 - ・入賞作品は1人1点までとします。(佳作はこれに限られません)
 - ・入賞作品の著作権は撮影者に帰属しますが、展示会や広報などのためのポスター・チラシ・ホームページ等の使用権は主催者に帰属します。
 - ・入賞作品は原版を後日提出してもらいます。(デジタルカメラの場合はオリジナルデータをCD-R等にコピーしたもの)

※注意事項

- ・複数の作品を応募する際には、それぞれの作品に汚れや傷が付かないようにして、送付して下さい。
- ・応募作品は原則として返却いたしません。返却を希望する場合は、送料相当分の切手と返信用の封筒を同封して下さい。
- ・応募作品の取扱いには十分注意いたしますが、汚れ、破損等、万一の事故に対する責任は負いかねますので、ご了承下さい。
- ・応募票に記入していただいた情報は、個人情報保護方針に基づき適正に取り扱いたします。

水土里ネットちば 298号(平成25年5月発行)



発行

水土里ネット千葉(千葉県土地改良事業団体連合会)
〒261-0002 千葉県美浜区新港249番地5
TEL.043-241-1711(代)/FAX.043-248-2563(代)

印刷

株式会社ニッセイアド
〒264-0026 千葉県若葉区西都賀4-18-3
TEL.043-206-7752/FAX.043-206-7753